**ソーシャルワーク実習Ⅰ　個別実習プログラム　プログラミングシート　日本福祉大学**

|  |
| --- |
| **実習基本情報** |
| **実習施設名：** | **実習指導者氏名：** | **実習期間：202 年 月 日（　）～202 年 月 日（　）** |
| **養成校：日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）** | **実習生氏名：（※）** | **学年：３年生** | **実習回数1カ所目（全2カ所）** | **実習時間数：　　　時間** |

**※実習生氏名欄について、複数の実習生で同一プログラムとなる場合は、連名で氏名を記載いただき、ご提出をお願いいたします。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **ソーシャルワーク実習****教育に含むべき事項****（国通知）** | **達成目標****（実習評価ガイドライン）**※各達成目標の具体例は行動目標を参照 | **福祉経営学部（通信教育）****実習Ⅰ達成目標（評価項目）** | **当該実習施設における実習の実施方法及び展開** |
| **事前学習・事前訪問** | **具体的実習内容** | **活用する資料・参照物** |
| **1日目** | **２日目** | **3日目** | **４日目** | **5日目** |
| **①** | 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 | (１)クライエント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる | 1．クライエント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる |  |  |  |  |  |  |  |
| **②** | 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の形成 | (２)クライエント等との援助関係を形成することができる | 2．クライエント等との援助関係を形成することの意義と方法を理解することができる |  |  |  |  |  |  |  |
| **⑥** | 当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ | (12)地域社会における実習施設・機関等の役割を説明することができる | 3．地域社会における実習施設・機関等の役割を説明することができる |  |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| ※上記のプログラミングシートは、実習内容を1日目、2日目、3日目・・・・・と日毎に記載する書式となっています。実習施設・機関によっては、日毎にプログラムを記載するよりも、5日間まとめて記載する、もしくは前半・後半などと2つに分けて記載する方がご都合がよい場合があると思われます。これらのケースに該当する場合は、日毎に設けられた線を自由に修正の上、実習内容を記載してください。 |